

○人とつながるよろこび ～オンライン授業から～



5月9日(木)、第一回中南米日本人学校とのオンライン授業を行いました。今年度も、サンチアゴ・ボゴタ・サンホセ・リオデジャネイロの4校で、自己紹介や学校紹介をしました。どの学校も学年による人数の偏りはあるものの、少人数ゆえに、意見を発したり、意見に耳を傾けたり、なるほどなど他者の発言から自分の考えをまとめる授業ができません。本日の交流から、新しい1年に向けて国語や道徳などを中心に、意見を交換することによって思考がより深まる授業を計画していきます。総合学習でも、国は違っても同じ中南米の課題が見えてくるかもしれません。またプレゼンの力を身に着けることもできます。時差があるので調整が難しいのですが、この取り組みを続けてまいります。

○ブラジルを知る ～総合的な学習の時間から～



総合的な学習の時間では、日伯外交関係樹立130周年に因み、ブラジルについて知ることをテーマに各グループごとに学習を深めていきます。毎週火曜日の1時間目の冒頭は、松平教諭による「英語で学ぶブラジルの著名人」を学習しています。英語で紹介された著名人の文章をリスニングし、その人の特徴を学び、学習シートにまとめます。これまで、オスカーニーマイヤー・ネイマール・アントニオカルロスジョビンなど、一度は知っておきたい人物たちを取り上げました。また、5月13日は日系協会に併設された資料館を見学し、リオデジャネイロ州と日系人の開拓の歴史を学ぶことができました。これから、リオデジャネイロに事務所を構える企業の方々や農場を営んでいる日系の方々より聞き取りをしております。

○保護者会・参観日 ありがとうございます



5月20日(火)、保護者会・授業参観・進路説明会・学校昼食試食会・宿泊教室説明会を実施いたしました。お忙しい中、皆さまご参加・ご参集いただきありがとうございます。学校経営・学級経営・進路選択についての概要等の説明をいたしましたが、ご不明な点がございましたら、今後もお気兼ねなくご連絡ください。どうぞよろしくお願い致します。

○授業をがんばっています



中学部音楽の授業で、リオ神戸の歌を練習しています。ビデオクリップへの参加が楽しみです。下級生を引っ張る歌声を響かせましょう。



小1～4年の図工では、Páscoa(イースター)に因んで、新聞紙と半紙を使って張り子の玉子を作り、色のデザインを楽しみました。



ポルトガル語の授業では、秋休みの思い出を絵に描いて、その説明をポルトガル語で綴ってみました。



小3理科では、種をまこうという授業で、聖護院大根・ネモフィラ、オクラ・トウガラシ、サツマイモを植えました。収穫が楽しみです。これから冬に向かい、根付くかどうか心配です。



小5～6の家庭科では、初めての裁縫でフェジヨン入りのお手玉を作りました。玉止め、玉結び、波縫いをマスターして、1人4個作り、お手玉検定にチャレンジした後、「あんたがたどこさ」の遊び歌で下級生・上級生と一緒に遊びました。学びがいっぱい!

<みんなが仲良くなれるレク!>

学生の頃、教員志望でなかったが、近所の青年の家でレクリーダー資格取得講座が開かれ受講した。その頃覚えたのが「進化ゲーム」「ナンバーボール」。コロナ禍、卒業前の中学生150人の思い出作りに、窓を開け放った体育館で、校長主催のレク大会を4年連続行った。だれでも楽しめることがコンセプト。だから多少の言葉の壁があってもみんなワカメやウニになりきって神を目指す。3年連続、モデル校交流で「進化ゲーム」をやることができ、とても幸せだ。青年の家に感謝だ。時代が変わっても大切なことは変わらない。